

# 平成26年度 第10回 市政経営会議 審議結果

(全庁にかかる経営戦略会議審議案件)

日時：平成26年11月25日(火) 14:00～14:40

場所：5階庁議室

- 【議題】 熊本市低炭素都市づくり戦略計画の見直しについて
- 【提案局】 環境局(環境政策課)  
説明者：石櫃環境局長(森環境政策課長)
- 【出席者】 幸山市長、高田副市長、牧副市長、大杉議会事務局長、飯銅総務局長、原本企画振興局長、木下財政局長、宮本健康福祉子ども局長、多野農水商工局長、津曲観光文化交流局次長、永山都市建設局長、前淵中央区長、西島東区長、永田西区長、永目南区長、田上北区長、田中消防局次長、西本交通事業管理者、寺田上下水道事業管理者、池田病院局事務局長、岡教育長
- 【付議内容】 熊本市低炭素都市づくり戦略計画の見直し(素案)について確定したい。
- 【資料】 ◇付議事項調書(様式1)  
◇熊本市低炭素都市づくり戦略計画(改定版)の概要  
◇熊本市低炭素都市づくり戦略計画改定版(素案)における短期目標(2020年度)の修正について  
◇熊本市低炭素都市づくり戦略計画【改定版】(素案)  
◇【参考資料】アクションプラン新旧対照表  
◇政策調整会議内容検討表(様式4)
- 【審議結果】 ◆一部修正のうえ了承
- 【議事概要】 ◇熊本市低炭素都市づくり戦略計画の見直し(素案)について、以下の点に対応の上、了承した。  
・市民の取組内容について、よりわかりやすい公表の方法を検討すること。  
・副題について改めて検討し、必要に応じ修正すること。
- 【審議の経過】 ◇短期目標の設定について、原子力発電所の稼働を想定しているのか。(牧副市長)  
⇒削減見込量については、原子力発電所の稼働を想定してお

らず、その旨については素案 34 頁で記載している。

(森環境政策課長)

◇副題について、温暖化を推進しているとも捉えかねないプラン名となっており違和感があるため、修正が必要だと考える。

(永山都市建設局長)

⇒仮称であるため、意見があれば変更する。(石櫃環境局長)

◇将来推計人口・世帯数について、第 6 次総合計画で 70 万人規模を維持すると掲げていることとどのように整合をとるか。

(多野農水商工局長)

⇒第 6 次総合計画では、国立社会保障・人口問題研究所の推計をベースに 2018 年までの将来推計人口・世帯数を算出しているところであり、2050 年までの人口については算出していない。今後も人口推計について研究を進め、公表に向けて取り組んでいく。(原本企画振興局長)

◇CO2 の削減目標について、電気の排出係数が据え置きからさらに低減したと仮定するならば、2007 年度比で 12.7% の削減であったことについて詳細に説明していただきたい。

(宮本健康福祉子ども局長)

⇒当初の計画では、主要な電源を原子力発電所とし、電気の排出係数が据え置きからさらに低減すると想定していたため、そのように仮定すると当初の目標をほぼ達成したものである。(石櫃環境局長)

⇒低炭素都市づくりに向け、市民の方々に理解、協力をしていただくために、副題や削減目標に対する達成状況などの公表のあり方について工夫が必要。(高田副市長)

◇第 5 章において市民の具体的な取組があるが、標準世帯を想定した例を示すなど、よりわかりやすくなるよう工夫が必要ではないか。(幸山市長)

⇒市民に対し、日常生活における取組がどれだけの削減効果があるか配慮した上で記載しているものであるが、公表の方法についてはさらに検討してまいりたい。(石櫃環境局長)